



熊本市立 大江小学校

ときめき

2024.6.17 (月)

No. 42

文責
松永

6月の学校朝会は6月5日(水)にありました

6月の学校朝会では、先月の一文字「進」について、写真を示しながら、がんばっている様子がたくさん見られたことから話を始めました。反面、なかなか改善・定着しないこととして、「あいさつ・トイレのスリッパ・廊下の歩き方」の3つをあげ、引き続き力を入れて取り組んでいってほしいと伝えました。少しずつはよくなっている感じもしますが、全体としてもう少し高まってほしいと思っています。どれも一人一人がちょっと意識すればできることです。伸びや変容を期待したいです。

がんばり
ましょう



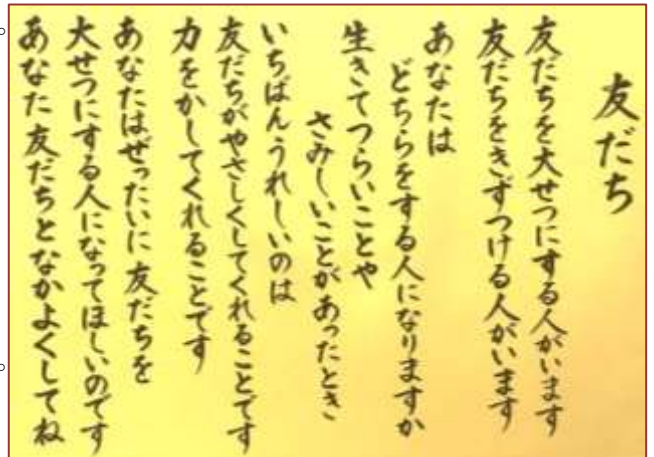
さて、6月は「心のきずなを深める月間」です。昨年度まで「いじめ根絶強化月間」としていた6月の取組を、今年度より熊本県と同じ「心のきずなを深める月間」と名称が変更されました。その趣旨としては、「学校・家庭・地域が互いの役割と責任を強く自覚して日頃からのいじめの未然防止を全市的に推進する。また、学校総体として、子どもたちが自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、豊かな人間性や社会性を身につけ、子ども一人一人が命を大切に、安心して生活できる学校をつくる。」とされています。今年度の熊本市のテーマは「みんなでいじめをなくしていこう ～思いやりの心をもって～」です。そこで



今月の一文字を「輪」としました。友達やまわりの人にやさしくしたり協力し合ったりすることで、あたたかいきもちになり、さらにがんばろうとやる気が出ると思います。逆に、いじわるをしたり友達がいやだと思うことをしたりする人がいるといやな雰囲気になります。「なかよくする」「役割を果たす」「気配りをする」といった一人一人のがんばりを、「輪」のようにつなげ広げていくようにしてほしいと話をしました。そうするためには、自分に関係ないではなく、「輪」の中の大事な一人として自覚して取り組むことが大事だと思います。



いいことの「輪」はどんどん大きくしていってほしいですし、「輪」の中に入れないといった冷たい対応はなしにしてほしいです。大江小みんなの力でえがおの「輪」を広げる6月にしていってほしいと願っています。集会の最後に、須永博士さんの「友だち」の詩を紹介しました。



今月の生活目標

雨の日の過ごし方を改めよう



6月の生活目標「雨の日の過ごし方を改めよう」のお話担当は、本田先生でした。雨の日は、床が滑りやすくこけてけがにつながります。廊下は走らずに教室では静かに過ごすようにしましょう。

